

第10回思春期ピアカウンセラー全国大会 in とちぎを開催して

大会実行委員長 宮地理子
(自治医科大学ピアサークル J☆PEER 部長)
(NPO 法人とちぎみらい with ピア学生会員リーダー)



全国のピアっ子(対面参加、オンライン参加)と一緒に

今回、栃木県が第10回記念大会の開催県となったこと、それに携わることができることへの嬉しさや誇りを感じた一方で、コロナ禍でまともに活動する事もできない中での企画、さらにハイブリッド方式という初めての試みにはじめは戸惑いや不安もありました。ですが、私たち自身がどんな大会にしたいかを大切にしようと動き始め、全国のピアっ子の繋がりを深め、NewNormalな生活に求められるピア活動についてみんなで考えられるような大会にしたいという思いを胸に、当日まで全員で協力して準備をしました。その中で、何よりも私たちの頭を悩ませたのはどうしたらオンライン参加者も取り残さずに、会場と一体感を持って進行できるかという点です。オンライン参加者に問いかけ発表してもらえるよう工夫したり、対面とオンライン両方の参加マニュアルを作成したりなど、夜遅くまで集まって考えることもありました。また、今回は企画段階から他県のピアっ子にもzoom会議に参加していただくなど、より広い意見を取り入れながら企画できるような工夫もしました。さらに、私たちは会場のディスプレイにもこだわり、セクシュアリティのイメージを持たせた6色の虹をコンセプトに作成しました。この全国大会はどんな仲間も受け入れる場であるという意味や、思春期ピアカウンセラーとしてのピアっ子の集まりであるという意味を込めました。

そして迎えた当日。直前まで不安な気持ちを抱えていた私たちでしたが、これまでの準備

が功を奏し、また多くの方の助力もいただいたことで、全てのプログラムを問題なく行うことができました。参加してくれた全国のピアっ子たちの笑顔や一生懸命話し合う姿を見たとき、悩みや困難がたくさんあった分、大好きな仲間や全国のみんなと過ごす有意義で素敵な時間を実感し、嬉しさや達成感でいっぱいになりました。コロナ禍で希薄になっていた心の繋がりを感じた1日でした。

今後は、大会で繋がることのできた全国のピアっ子と協力し、ピアカフェで出た意見を元に若者宣言を作成していく予定です。若者を誰一人取り残さない、そんな未来を目指して、これからも私たちは活動していきます。



ピアカフェの様子

